

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和7年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	新庄市大字本合海 地内			事業主体	最上広域森林組合
整備面積	1.07ha	樹 種	スギ	林 齢	33年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	金山町大字飛森字後川山 地内			事業主体	金山町森林組合
整備面積	13.48ha	樹 種	スギ	林 齢	23～28年生
整備内容	当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。 このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。				



整備前



整備後